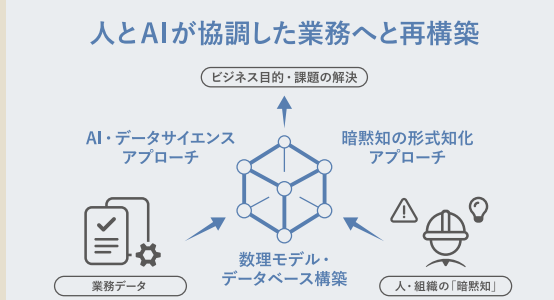




資本金 1,000万円 (SOLIZE Holdings100%)
従業員 360人 (単体)
拠点 国内5
代表者 代表取締役社長 堤 寛朗

本社
東京都千代田区丸の内1-8-2
鉄鋼ビルディング6F

我が社の逸品



「AI・データサイエンス」と「暗黙知の形式知化」のアプローチを組み合わせ、人とAIが協調した業務の再構築が強み

会員企業ファイル⁸³



ソライズ ユリーカ テクノロジー

製造現場の「暗黙知」をデジタル化で「組織知」に



社員も喜ぶ快適な執務エリア



洗練された雰囲気の新社屋エントランス



現場密着型のデジタル変革



同社の技術が光る自動運転シミュレーター

現場密着で全体最適化をサポート
自社の人材獲得・育成にも注力中

SOLIZE Ureka Technologyは、製造業の開発プロセス全体にコミットし、部門横断で業務プロセスを全体最適化するコンサルティング支援と、次世代モビリティ領域における自動運転技術などのエンジニアリング支援を提供するテクノロジー企業である。SOLIZEグループが長年、自動車開発の現場で積み上げてきた知見を基盤に、現場密着型のデジタル変革を推進している。

製造業の現場には「暗黙知」が多く存在するが、その多くは個人や部門内に埋もれ、組織全体で生かされていない。同社はこれらを体系化し、組織知として再構築するとともに、数理モデル化や人工知能(AI)への落とし込みにより、開発リードタイム短縮や効率向上につなげている。中核となるのは、組織知化した暗黙知と実際の業務プロセスを統合的に分析し、全体最適の視点で「どの工程をデジタル化すべきか」を設計した上で、その実装を支える独自のAIソリューションである。自然言語処理エンジンと動的データ管理を

組み合わせ、現場で日々更新される定性・定量データを継続的に取り込みながら、工程設計や意思決定ルールを自動でアップデートする。これが開発・生産プロセスのボトルネック解消や対応工数削減につながり、組織全体の運営効率と品質向上を実現する。

同社のサービスの特徴は、プロセスにコミットし、顧客と伴走する現場主義にある。単なるシステム導入ではなく、顧客の業務環境や制約を深く理解した上で、現場で使われ続ける仕組みとして定着させることに重きを置く。

同社は報酬制度や評価制度の刷新にも着手し、優秀なコンサルタントやSDVエンジニアの獲得を強化している。東京駅隣接の鉄鋼ビルに新本社を構えたのも、共創活動と採用力を高める狙いがある。オフィスレイアウトは、社員の創造性を高めつつ、働きやすさも実現するため、若手社員を含めた社内横断チームが主体となり、検討・設計した。製造業が人手不足と高度化の両立を迫られる中、「現場知×AI」によって日本のモノづくりの知的生産性を引き上げる存在として、同社は注目を集めている。